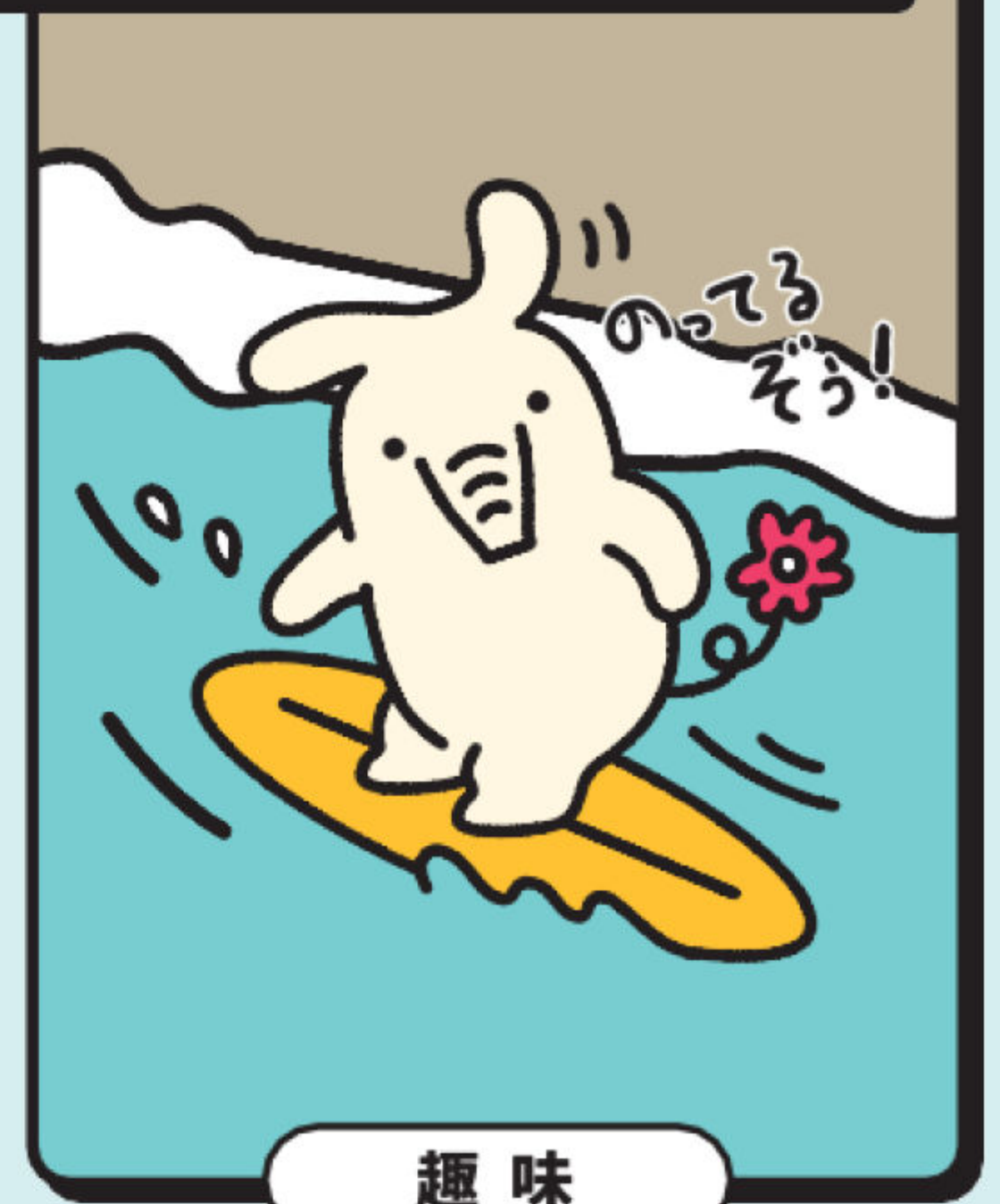


将来のために

資産形成、はじめませんか？



©よりそう

早めの資産形成が必要な理由

人生100年時代

現役引退後の人生が長くなってきています。

年金制度への不安

少子高齢化で1人の年金受給者を支える現役世代の人数が減っています。

超低金利時代

低金利時代では、預貯金だけで資産を増やすことは限界がありそうです。

JAバンク投信ネットサービス



はじめるなら、JAバンクアプリ
投資信託の口座開設がスマホでかんたん！

NISA口座の開設も同時にお申込みできます

来店不要

365日・24時間



印鑑不要





JAバンクアプリの登録方法と投資信託口座開設申込み

スマホ・PCどちらも対応

1 アプリをダウンロード

「JAバンクアプリ」で検索
または、二次元バーコードから
ダウンロードページに移動。



2 必要な情報を入力

ダウンロード後、アプリを
タップして起動。画面の案内に
従って、必要な情報を入力。



3 ログイン

登録したJAサービスIDとパスワードを
入力して「ログイン」をタップ。



4 サービスから投資信託口座を開設を選択



5 取引するJAおよび指定貯金口座を選択



6 JAサービスID情報の認可確認を経て、投信ネットサービスへ移動

投信注文にあたっての操作方法は、
JAバンクホームページに
掲示しております。



くまがや農業協同組合

登録金融機関

関東財務局長(登金)第346号

PCからも
ご対応可能です。



JAバンクHP>貯める・増やす>投資信託
<https://www.jabank.org/tameru/tousisintaku/>

〈JAバンク投信ネットサービスに関してご留意いただきたい事項〉

投資信託の指定貯金口座にキャッシュカードが発行されている場合に限られます。

※詳しくは当組合で定めた「JAバンク投信ネットサービス利用規定」をご確認ください。(当組合ホームページで閲覧できます)

〈投資信託に関してご留意いただきたい事項〉

●投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。●投資信託運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には以下のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。○購入時:購入時手数料がかかるファンドがあります。○運用期間中:運用管理手数料(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。○換金時:信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料等とは別に為替手数料がかかります。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。